

第2学年 英語科学習指導案

令和元年7月1日(月)

2年1組 計5名

授業者

1 研究主題との関連

本校の研究主題「主体的・対話的に深い学びに向かう生徒の育成～小規模校のよさを生かした教育活動の工夫を通して～」に迫る手立てとして、旅行計画をたずねたり答えたりする活動を通して、コミュニケーション能力の基礎となる思考力・判断力・表現力の育成を図る。

2 単元名 TOTAL ENGLISH 2 Lesson 3 Flight to the U.K.

3 単元目標

聞き手に配慮しながら積極的に伝えようとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

日常的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話して自分の考えを伝える。(思考力、判断力、表現力等)

4 単元の評価基準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞き手に配慮しながら積極的に伝えようとしている。	伝える内容を整理し、相手と伝え合うことができる。	/	/

5 指導と評価の計画(9 時間)

時間	ねらい・学習活動	単元の評価基準	評価方法
1	○週末しようと思うことを相手に伝える will を使った言語活動	イ	活動観察
2	○今年の夏にしようと思うことをたずねる Will you -? / won't を使った言語活動	イ	活動観察
3	○本文内容理解 3A 機内放送 本文を参考に国際線の客室乗務員になりきって機内アナウンスを練習する		
4	○本文内容理解 3B 機内での会話 本文を参考に機内アナウンスをする 本文について質問に答える	ア	活動観察・ワークシート
5	○夏休みの予定を相手に伝える I'm [not] going to - を使った言語活動	イ	活動観察
6 本時	○夏休みの旅行についてたずねる Are you going to -? を使った言語活動	イ	活動観察

7	○本文内容理解 3C 入国カード 本文について質問に答える	ア	ワークシート
8	○本文内容理解 3D 入国審査 本文を参考に入国審査のやりとりをする	ア	活動観察・ ワークシート
9	○パフォーマンステストの実施	ア、イ	パフォーマンステスト

6 単元について

(1) 教材観

この単元では、ヒロがロンドンに到着するまでの出来事がえがかれており、実際に旅行に行った場面で必要となる表現が扱われている。国際線の飛行機で出会った女性や、入国審査でのやりとりの場面があり、「素直に自分の意思を伝える力」を育成するのに適した教材である。will と be going to を用いた未来表現を言語材料として学習し、未来の予測・意志や予定を伝える場面が多数出てくる。単元のまとめでは、理想の夏休みの予定について、やりとりする活動を行う。

本単元を通して、聞き手に配慮しながら積極的に伝えようとする態度を育成させたい。また、伝えたい内容を整理して伝え、それに対する質問に答えながらやりとりできる力も身につけさせたい。

(2) 生徒観

授業アンケートの[授業を受けて「もっとできるようになるう」、「もっと考えてみよう」としている]という項目で、「そう思う」に全員が答えており、生徒全員が、積極的に学習活動に参加できる。

「話すこと」については、学んだことを使って話そうとする姿勢が見られ、教室英語や既習事項を使って、考えたことを伝えることができる。一方で、質問に対する返答で対話が終わってしまうことがあり、対話を継続・発展させる力の活用に課題がある。本文の対話の流れを学習しながら、言語活動でも自分で実践できるように取り組んでいきたい。

(3) 指導観

本単元では、「伝える内容を整理し、相手と伝え合うことができる」ことを目標とし、理想の夏休みの予定についてやりとりする活動を予定する。単元のテーマである「旅行」について、言語活動では、想像しながら意欲的に取り組めるような場面を設定する。毎時間、ペアで自分の考えを伝え合う学習活動を行い、段階的に対話に必要なリアクションを取り入れるよう指導し、対話の流れを意識させたい。本文の内容理解で、“Oh, I see.”など、コミュニケーションを円滑にする表現を学び、スピーキング活動でも生徒が自分で取り入れていけるようにしたい。

7 本時の学習(6 / 9時間)

(1) 目標

夏休みの旅行の計画について、be going to-を使ってたずねたり答えたりすることができる。

(2) 本時の授業仮説

旅行の計画をたずねたり答えたりするコミュニケーション活動を通して、be going to -が予定

していることを伝える未来表現であることを理解し、伝え合う力を身につけることができる
 える。

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価と支援
導入 8分	○Greeting ○Review “I’m going to –.” ペアで自分の予定を伝える パートナーの予定を伝える	・be going to –の肯定文を復習し、疑問文の導入につなげる	前時の学習内容を確認める
展開 37分	○本時のめあてを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">I can ask and answer about my tour plan.</div> ○be going to-の疑問文の作り方を考え、たずねる練習をする ○ペアで予定を質問し合う ○Activity (1)質問の仕方を考える (2)教師に質問をたずねる (3)夏休みの旅行計画について Are you going to-?を使ってペアでたずねたり答えたりする	・be 動詞の疑問文をヒントに疑問文の作り方を考えさせる ・Yes, I am. / No, I’m not.で答える質問を考え、たずね合う ・疑問詞を使った疑問文を練習し、デモンストレーションする。 ・質問の答えを受けてのreactionを意識させる	・ペアでたずねたり答えたりすることができる ・モデルを提示する ・ペアで質問をたずねたり答えたりできる
終末 5分	○まとめ・本時のふり返しをする	・ふり返しシートに、まとめと本時のふり返しを記入させる。	

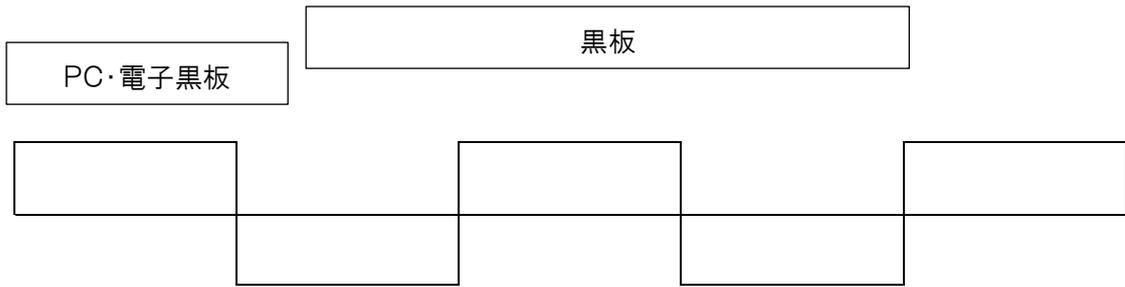
(4) 本時の評価

旅行の計画について be going to-を使ってたずねたり答えたりすることができる。

(5) 板書計画

めあて I can ask and answer about my tour plan.	まとめ 「～するつもりですか」とたずねる時は be 動詞を主語の前にする
<p><u>I’m going to play baseball afterschool.</u> <u>Are you going to play baseball afterschool?</u> ○ Yes, I am. × No, I’m not. <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> are you going to ____?</p>	

(6) 座席表



(7) ワークシート・その他活用資料

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語編(2018) 文部科学省